

## シミュレーション 2050 について

### 【実施の背景】

若年層の投票率は低い数値を推移しており、今後投票率を向上させるには政治参加意識の向上（選挙や政治を自分ごととして捉えること）が必要。

「シミュレーション 2050」は、政策の議論や模擬投票といったイベントが盛り込まれており、政治参加意識の向上が見込まれる。（選挙・政治の知識の有無に関係なく参加できるよう、カードゲーム方式を採用）

### 【ルール】

- ・ 1 グループを 5 名とし、「産業課長」、「まちづくり課長」、「土木課長」、「福祉課長」、「教育課長」に任命する。
- ・ ゲーム中、2 回のイベント（①2036 年から 2040 年の政策、②2041 年から 2050 年の政策）について討議する。
- ・ 5 名の課長は、それぞれ事業を担当しており、イベント（災害の発生や社会保障費の増加、新規事業の提案など）に対応するため、既存事業の廃止や新規事業を実施するための方策を考えていく。
- ・ 事業にはそれぞれ、①福祉、②教育、③経済、④住環境といった貢献度が設定されており、最終的にどのような事業を残すのか、どのような新規事業を実施するのかによってグループごとに特色のあるまちづくりが行われる。
- ・ グループごとにどのようなまちを作ったのか発表してもらい、どのグループが良かったか、参加者が投票する。

### 【使用する資料】

実施している事業	実施している事業	廃案にした事業
		